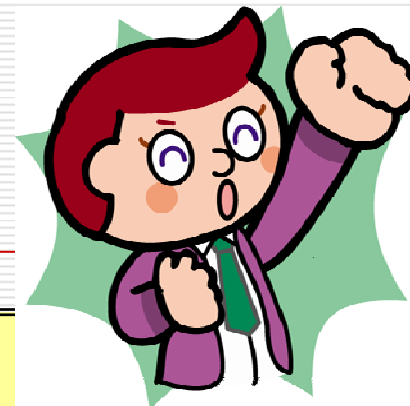


～多摩市が持っている資源を考える



職員WTが考えた多摩市の強み

- ① 緑や公園が多く、景観がよい
- ② 開発可能な土地が多い。学校跡地がある。
- ③ 公共施設が充実し、都市基盤が整備されている
- ④ 公共交通機関が発達している。道路が広く、車道と歩道が分離している。
- ⑤ 周辺に大学等学校が多く、教育環境が良い
- ⑥ NPO団体が多く、市民団体等との協働が盛ん。地域で活動する人材も豊富。
- ⑦ 子育てしやすいまちである
- ⑧ 地域での自主防災組織が充実しており、都市基盤も整備されている、災害に強いまちである
- ⑨ 財政力があり、自主財源比率が高く、安定した税収がある

～多摩市が持っている資源を考える



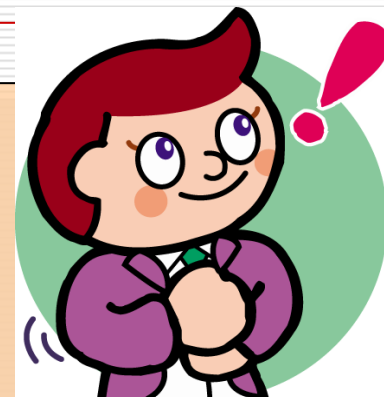
職員WTが考えた多摩市の弱み

- ①多摩市の人口特性として、団塊世代の割合が多く、急速に高齢化が進んでいく
- ②坂や階段が多く、交通弱者の負担が大きい
- ③地域のコミュニティ意識が希薄
- ④産業が少なく、企業が少ない(就労の場が少ない)
- ⑤商店街が少ない
- ⑥観光資源が少ない
- ⑦公共施設やニュータウンの老朽化が著しく、今後の維持管理にかかる経費負担が大きい

～多摩市を取り巻く環境を考える

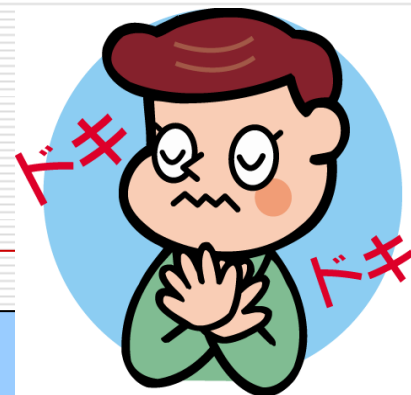
職員WTが考えた多摩市にとっての機会(チャンス)

- ①地方分権が一層進み、市の独自性が発揮できる
- ②高度情報化、IT化が一層進み、市民サービスの向上につながる
- ③ビジネスチャンスが多様化する
- ④生き方やライフスタイル、就労形態が多様化する
- ⑤地域活動への関心が高まる。市民活動等が活発化する。
- ⑥安全・安心のまちづくりや環境への関心が高まる
- ⑦団塊世代退職者や元気高齢者が増え、地域活動に参加できる人材が充実する
- ⑧ニュータウンの再生や団地の建替えが進む



～多摩市を取り巻く環境を考える

職員WTが考えた多摩市にとっての脅威



① 少子高齢化の影響

(税収減、社会保障費等増大、福祉の担い手不足等)

② 格差の拡大と雇用不安、ワーキングプアの増加

③ 犯罪の複雑化、凶悪化、低年齢化

④ 地域コミュニティの希薄化、地域力低下

⑤ 新型インフルエンザ、アレルギーなど新たな病気の発生

⑥ 都市インフラの老朽化、維持管理コスト増大

⑦ 高齢化により増える一人暮らし高齢者の、地域からの孤立化